

市の“財政状況”をお知らせします

問合せ＝財政課（内線 261・262）

平成26年度の一般会計決算は、集中改革プラン「リメイク大和郡山プロジェクト」などの行財政改革に継続して取り組んできた結果、5,649万4千円の黒字決算となりました。また、国の決算基準である普通会計（本市では、一般会計に「住宅新築資金等貸付事業特別会計」「公園墓地事業特別会計」「公共用地先行取得事業特別会計」をあわせたもの）も、前年度並の8,986万7千円の黒字決算となりました。

財政状況を表す指標である財政健全化判断比率については、前年度借入を行った土地開発公社解散に伴う第三セクター等改革推進債の償還を開始したことにより、市の借金である市債に関する指標は増加している

ものの、他の指標は前年度と比べて改善しており、さらに、市債の残高も着実に減少していることから、これまでの財政健全化への取り組みの成果が現れてきていると考えられます。

今後も、積極的に行財政改革に取り組み、将来にわたってよりよい市民サービスを提供できる財政基盤づくりに努めていきます。

【平成26年度 財政健全化に向けた主な取り組み】

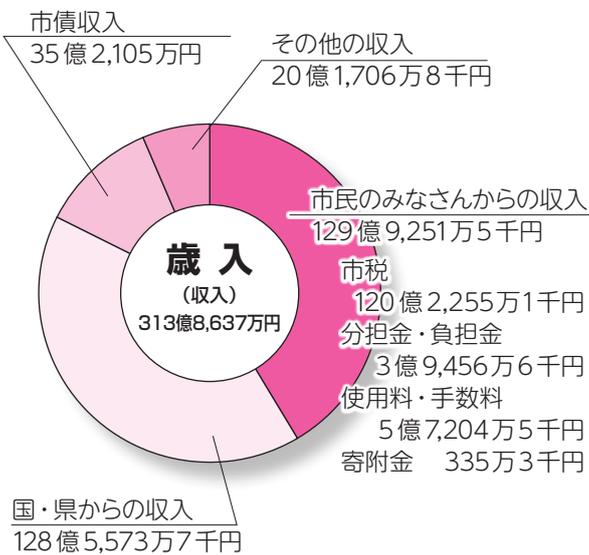
1. 職員給与の削減
2. インターネットによる不用財産処分
3. 委託業務等の契約額の見直し

一般会計 歳入・歳出の状況

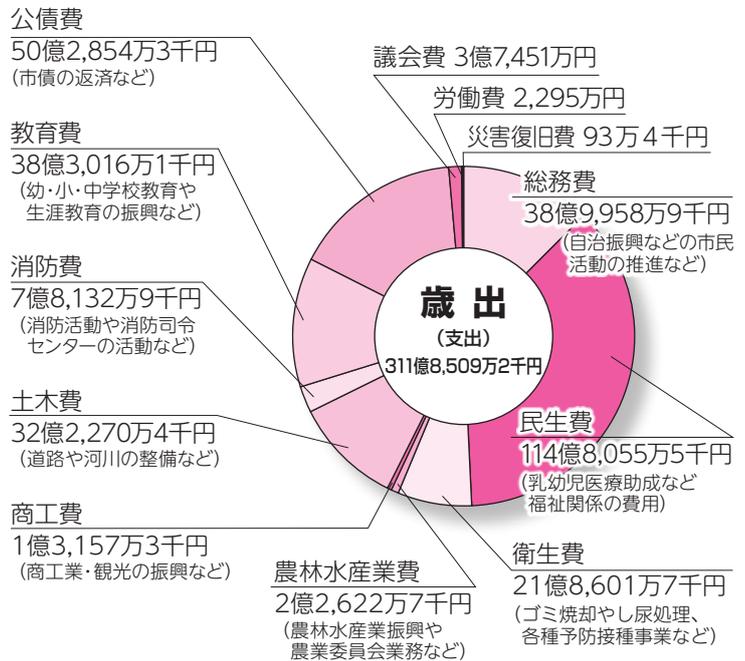
※一般会計：福祉・教育・環境など、市民のみなさんの日常生活に関わる仕事をする会計のこと
 ※特別会計：特別の仕事をする場合に、一般会計とは別に経理をする会計のこと

平成26年度一般会計の翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支は、5,649万4千円の黒字となりました。

歳入 313億8,637万円
 （前年度比 39億1,128万3千円減）



歳出 311億8,509万2千円
 （前年度比 32億5,219万円減）



【市民1人あたりの支出 352,048円】

※平成27年3月31日現在の市の人口(88,582人)で算出

決算を市民ひとりあたりで見ると...

●総務費..... 44,022円	●商工費..... 1,485円	●公債費..... 56,767円
●民生費..... 129,604円	●土木費..... 36,381円	●議会費..... 4,228円
●衛生費..... 24,678円	●消防費..... 8,820円	●労働費..... 259円
●農林水産業費..... 2,554円	●教育費..... 43,239円	●災害復旧費..... 11円